

大学と短期大学の特性を生かし  
より緊密に連携し  
建学の精神を実現します

学長 中島 實

## 特集

# 神戸女子大学 神戸女子短期大学 新体制始まる

行吉学園 神戸女子大学は、平成 29 年度から現在の多様な教育ニーズに応えられる女子の高等教育機関として、大学、大学院、短期大学を一体的に運営し、それぞれの教育組織の特性を生かし、より緊密に連携することで建学の精神を堅実に実現するためのスタートを切りました。

その第一歩として、4 月から神戸女子大学 中島 實学長が、新たに短期大学の学長も兼任することになりました。

今回は、学長として 2 期目に入る中島学長の 1 期 4 年間の成果と次なる目標、学長を支える体制について紹介します。



学長 中島 實 Profile

学歴 昭和49年 3月 神戸大学 教育学部卒業  
名古屋大学大学院 教育学研究科  
(教育心理学専攻) 修士課程修了  
平成17年 博士(心理学) [名古屋大学]  
略歴 昭和59年 4月 大阪教育大学 教育学部 助教授  
平成 6年 4月 神戸女子大学 文学部 助教授  
平成 9年 4月 神戸女子大学 文学部 教授  
平成22年 4月 神戸女子大学 文学部長  
平成25年 4月 神戸女子大学 学長就任  
平成29年 4月 神戸女子大学 学長再任  
神戸女子短期大学 学長就任 現在に至る

### 所属学会

日本心理学会 日本教育心理学会  
日本認知心理学会 関西心理学会

## 神戸女子大学学長の再任 神戸女子短期大学学長の新任に伴う 今後の取組について

神戸女子大学・神戸女子短期大学  
学長 中島 實

このたび、神戸女子大学学長ならびに神戸女子短期大学学長を兼任することになりました。微力ながら精一杯努めてまいりたいと思っております。

神戸女子短期大学は昭和25（1950）年に、神戸女子大学は昭和41（1966）年に開設され、現在、神戸女子大学は4学部10学科1専攻科、大学院3研究科7専攻、神戸女子短期大学は3学科で構成されるに至っております。学び舎となるキャンパスは、神戸女子大学（家政学部と文学部）が須磨キャンパス、神戸女子短期大学がポートアイランドキャンパスとして、永らくそれぞれの大学がキャンパス内で完結する体制で教育研究を行なってきました。その後、本学の発展に伴い、ポートアイランドキャンパスに大学の健康福祉学部、次いで看護学部が新たに開設されるに至って、ポートアイランドキャンパスは短期大学、大学の2学部と大学院の1研究科が併設されるキャンパスになりました。同時に、大学の学び舎も拡充され、須磨キャンパスとポートアイランドキャンパスにまたがるものとなり、今日に至っております。

そのため、ポートアイランドキャンパスにおいて大学の2学部と短期大学が併存する状況の中、大学と短期大学の特性を生かしながら集約的かつ相乗効果をさらに高めるよう、教学組織、運営体制を再整備することが必要とされております。この点は、同時に両キャンパスを含めた学園全体として大学、大学院、短期大学を一体化した形での教学組織、運営体制の整備にも連動するものであります。まずは、これらを基本課題として取り組んでいきたいと考えております。

### 中島学長就任時からの神戸女子大学 主なあゆみ

平成25年4月

中島 實学長 第6代 神戸女子大学 学長に就任

平成26年4月

須磨キャンパス図書館にライブラリー・commons設置

平成26年8月

静宜大学(台湾)と「友好交流に関する協定」締結

平成27年4月

ポートアイランドキャンパスに看護学部開設

平成28年4月

ポートアイランドキャンパスに健康栄養学研究科  
健康栄養学専攻開設

平成29年4月

家政学部 管理栄養士養成課程の入学定員、編入学定員  
の変更

健康福祉学部 健康スポーツ栄養学科の入学定員の変更

### 学長室が新たに設置される

学長が大学及び短期大学を兼任することに伴い、組織運営を円滑に行なうための部署として事務組織規程の改正により学長室が設置されました。

学長室が所掌する事務は、大学教育推進業務として、学長の諮問機関である大学教育推進会議の運営、自己点検・評価活動、FD・SD活動、各種研究支援等に関する事、またIR（Institutional Research）推進業務として、大学運営の基礎となるデータの収集・分析等に関する事、及び秘書業務に関する事となっております。

本学の教育研究上の目的を達成するためにこれらの業務を着実に  
行ない、学長のリーダーシップに基づく大学運営を支えます。



須磨キャンパス



ポートアイランドキャンパス



## 神戸女子大学 学長を支える2人の副学長にインタビュー

副学長 平田 耕造

×

副学長 栗原 伸公

### ■ 副学長の役割についてお話をください。

**平田耕造 副学長（以下 平田）** 中島学長のガバナンスを発揮した大学運営を支えるのが副学長の役割と考え、学長が示すビジョンを栗原副学長と協力して、学長が直接できない事業等を推し進めていきたいと考えています。

**栗原伸公 副学長（以下 栗原）** 初めて副学長の任をお引き受けしました。何をするのか現時点では確定していませんが、副学長は、学長の思いを結実するために役に立つことが仕事と考えます。家政学部長であった時に、平田副学長のお心遣いで学部長の職務がスムーズに遂行できたと記憶しています。平田副学長を見習っていこうと思っています。

### ■ 平田副学長は、再任にあたり引き続き推し進めたいプランなどがあれば教えてください。

**平田** 中島学長の意向を受け、平成26年に、須磨キャンパスにライブラリー・コモンズを設置、教育支援システムが稼動する道筋をつけました。今後は、教材開発、学習支援システムを使ったアクティブ・ラーニングをさらに推進し、学生への学習支援、教員の授業のサポートを推し進めたいという思いがあります。大学全体で見れば導入した教育支援システムを使って授業をしている教員はまだ少数派です。今年の3月に「教育改革・推進フォーラム」で、アクティブ・ラーニングの事例発表会を開催しましたが、この輪を広げていきたいと思っています。多く



神戸女子短期大学  
副学長 中川 伸子

### 神戸女子短期大学の副学長として

神戸女子短期大学の学長は、平成29年4月より神戸女子大学の学長 中島 實教授が兼任し、大学と短期大学の一体的運営が進んでいます。学長のリーダーシップがより発揮できるよう、短期大学には副学長職が6年ぶりに置かれ、私が任命されました。これまで6年間、短期大学総合生活学科の学科長として仕事をしてまいりましたが、今後は中島学長を補佐し、大学と短期大学の一体的運営の推進、及び短期大学のために全力を尽くす所存でございます。

短期大学を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。周知のように、文部科学省は実践的な職業教育を行なう新しい高等教育機関として「専門職大学・

の教員が使えば、学生の学んだ過程や履歴が蓄積され、キャリアサポートセンターに行って就職相談をする時に、学習履歴を容易に提示することができ、自己PR等、より高度なサポートが受けやすくなります。専門性を生かし能力を発揮できる職場への就職につながるのではないのでしょうか。

また、学生の学習支援の効率化のため、個々の委員会、組織に分かれているものの連携を強めることも推し進めたいと思っています。

### ■ 学生へのメッセージをお願いします。

**栗原** 神戸女子大学に着任して、学生が、素直で真面目で優しいという印象を受けました。それは10年以上経った今も変わりません。ただ、もともと学生は優秀で素質があるのにここまでできなないと思って自分自身で壁を作ってしまった人がいるのが残念です。自分の能力に気がついてやる気をもってほしいです。これまでのゼミ生を見ていると、英語が苦手な学生に、面白い研究テーマがあるからと言って英語の論文を紹介したら、努力して読めるようになったり、化学が嫌いな学生が自分の興味を引く栄養素の研究のために化学を基礎から勉強し直して得意になったこともありました。研究テーマを見つけ解明しようとする目的があれば、抜群に能力を発揮しています。大学院生の中には、公益財団法人の研究助成を獲得して研究をする人も何人か出ています。やればできる。みんなもっと人の役に立つことができますよと伝えたいですね。

**平田** 各学科の学生には、いろんなことにチャレンジする学生がいて、中にはとてもダイナミックな活動をしている学生に出会えて楽しいです。より多くの学生に自分の好きなことへ果敢に挑戦して個性を伸ばし、さらに磨きをかけてほしいですね。

短期大学」を制度化し、平成31年度に開設可能としています。神戸女子短期大学の3学科（総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科）においては、建学の精神に謳われるところの「社会の形成者」として「勤労と責任」を重んじる「有為な女性」を育成するための教育を、常に培っております。そして、卒業後の職業への人材育成、健全な社会人の養成を教育成果としてまいりました。

私たちは、「専門職短期大学」の創設といううねりの中でも独自性を持った短期大学として生き残れるよう、教職員一同専心してまいりたいと思っておりますので、何とぞよろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。

創造性はきっかけがあると花開きます。それは学生間で連鎖反応をおこし、建学の精神でもある「有為な女性を育成する」ことにもつながります。

### ■ 神戸女子大学の良さは何でしょうか？

**平田** 学園のトップと教員の距離がものすごく近く、教員と学生の距離も近いことです。これは大学が一体となって何かをしようとするときにとても大切なことです。

**栗原** 卒業生の教職員に代表されるように、一人ひとりの学生を心から大切にしているところです。これは他の教職員にも受け継がれていて、学生の生活全般にわたって相談にのり、援助しようとする姿勢は、今後も引き継いでいかなければなりません。



副学長 平田 耕造

#### Profile

##### 学歴

金沢大学 教育学部卒業  
東京学芸大学大学院 教育学研究科修士課程修了  
医学博士 [金沢大学]

##### 略歴

金沢大学 医学部 講師を経て  
平成元年 4月 神戸女子大学 家政学部 助教授  
平成 5年 4月 同大学 家政学部 教授  
平成15年 4月 同大学 家政学部長 (~H18.3)  
平成18年 4月 同大学 副学長 (~H21.3)  
平成19年 4月 同大学 学園情報センター長 (~H22.3)  
平成25年 4月 同大学 副学長 現在に至る



副学長 栗原 伸公

#### Profile

##### 学歴

東京大学 医学部卒業  
博士(医学) [東京大学]

##### 略歴

東京大学 医学部 助手  
埼玉医科大学 講師を経て  
平成16年 4月 神戸女子大学 家政学部 助教授  
平成17年 4月 同大学 家政学部 教授  
平成22年 4月 同大学 家政学部長 (~H28.3)  
平成29年 4月 同大学 副学長 現在に至る



副学長 中川 伸子

#### Profile

##### 学歴

大阪女子大学(現大阪府立大学) 学芸学部卒業  
神戸大学 文学部卒業  
大阪女子大学大学院 文学研究科修士課程修了  
神戸女学院大学大学院 文学研究科  
博士後期課程満期退学

##### 略歴

平成 8年 4月 神戸女子大学瀬戸短期大学 講師  
平成12年 4月 同短期大学 助教授  
平成16年 4月 神戸女子短期大学 助教授  
平成19年 4月 同短期大学 教授  
平成20年 4月 同短期大学 図書館長 (~H22.3)  
平成22年 4月 同短期大学 学生部長 (~H23.3)  
平成23年 4月 同短期大学 総合生活学科長 (~H29.3)  
平成29年 4月 同短期大学 副学長 現在に至る